

令和5年度 組織目標【実績(3月)】

所属 部・局 議会事務局

【議会事務局 行動指針】

二元代表制の一翼を担う議会がその役割を十分に発揮できるよう、事務局職員がチームワークと常により良くする改善の精神をもって全力でサポートする。

No.	組 織 目 標	ページ
1	議会基本条例に基づき、市民の思いが市政に反映される最良の意思決定機関を形成できるよう、議会活動及び議員活動の充実をサポートする。	P1
2	市民に分かりやすい開かれた議会を目指し、広報広聴の取組の充実をサポートする。	P2
3	議会改革に向けた活発な協議・検討を推進し、議会の活性化をサポートする。	P3

運 営 目 標		中間点検(9月)	最終点検
1	議会基本条例に基づき、市民の思いが市政に反映される最良の意思決定機関を形成できるよう、議会活動及び議員活動の充実をサポートする。 		
施 策 達成指標 達成手段 等	① 【施策】 議会活動等の充実に向けて、政策判断や政策立案の能力向上のため、議員研修の開催や研修情報を随時提供する。 【達成すべき指標】 議会活動等における課題に対応した研修の開催や外部研修の受講(計3回以上)により、政策判断や政策立案等に必要なスキルを習得 【指標を実現するための取組・手段等】 ①本市議会主催の議員研修会を開催するとともに、外部研修(近隣市主催)に積極的に参加するよう調整する。 ②議員に有益な他団体・機関等の先進事例や研修情報等を収集し、年間を通じて情報提供する。	【指標を実現するための取組・手段等】 ・検討を進めている議員報酬及び議会DXをテーマに、本市議会主催の議員研修会を計2回開催するとともに、外部研修にも随時、参加した。 ・他団体・機関等の動き、先進事例及び研修情報等を収集し、市議提案条例案や意見書案の提示、研修情報を提供した。	【達成すべき指標】 ・議会活動等における課題に対応した研修の開催や外部研修の受講により、政策判断や政策立案のほか委員会運営等に必要なスキルを習得した。 【指標を実現するための取組・手段等】 ・検討を進めている議員報酬及び議会DXをテーマに、本市議会主催の議員研修会を計2回開催するとともに、外部研修に計4回参加した。 ・他団体・機関等の動き、先進事例及び研修情報等を収集し、市議提案条例案や意見書案の提示、研修情報を提供した。
	② 【施策】 職員個々の能力を高め、議会運営のサポートチームとしてのチーム力向上を図り、議会運営で生じた課題等に対して的確に対応・処理する。 【達成すべき指標】 年間を通じて定例会(4回)、臨時会及び委員会等の円滑かつ効果的な議会運営 【指標を実現するための取組・手段等】 ①関係法令の理解、先例及び先進事例の調査・研究に日々努め、審議・審査をはじめ議会運営に的確なアドバイスを行う。 ②外部職員研修(1人1回以上受講)及び議会運営上、先例にない案件等が生じた場合等において適宜OJTを実施し、職員の育成を図る。	【指標を実現するための取組・手段等】 ・先例等をよく調べ、議会や委員会の運営案の提示や、議長及び委員長へ議事進行上における的確なアドバイス等を実施した。 ・先例にない案件等について、他市の状況等を情報収集し、職場内で情報共有の上、方向性等の議論を通じて、職員のレベルアップを図った。 外部研修も随時、受講している。	【達成すべき指標】 ・外部職員研修による必要なノウハウの取得のほか、先例及び先進事例の把握等に努め、議会運営委員会、幹事長会、正副委員長との打ち合わせ等の調整を重ねながら、年間を通じて円滑かつ効率的な運営をサポートした。 【指標を実現するための取組・手段等】 ・先例等をよく調べ、議会や委員会の運営案の提示や、議長及び委員長へ議事進行上における的確なアドバイス等を実施した。 ・先例にない案件等について、他市の状況等を情報収集し、職場内で情報共有の上、方向性等の議論を通じて、職員のレベルアップを図った。 外部職員研修を1人1回以上受講した。

運 営 目 標		中間点検(9月)	最終点検
2	市民に分かりやすい開かれた議会を目指し、広報広聴の取組の充実をサポートする。		
施 策 達成指標 達成手段 等	①		

【施策】

議会活動の積極的な情報公開と、広く市民の声を聞く場の創出をサポートする。

【達成すべき指標】

- ①議会だよりの発行 年4回
- ②市民と議会の懇談会 年2回開催(地域1回:全市域を数ヵ所に分けて実施、団体:所管別常任委員会各1回以上)
- ③ホームページの定例会ごとの更新(動画配信、議事録検索、議会日程予定等)

【指標を実現するための取組・手段等】

- ①議会だより・ホームページの内容について、議会情報化委員会での編集等をサポートし、適宜改善を図りながら分かりやすい情報を提供する。
- ②市民と議会の懇談会が活発な意見交換の場となるよう協議テーマ、協議方法及び参加の呼びかけ等について創意工夫し開催する。

【指標を実現するための取組・手段等】

- ・情報化委員会で、内容が分かりやすいものとなるよう編集等をサポートしながら議会だよりの発行、ホームページによる情報発信を実施した。
- ・10月の懇談会に向けて、他市の取組等も情報提供し、これらを参考に市民の多様な意見を聴取するため、グループワーク方式を試みるとともに、当該試行についてのアンケートを実施することを決定した。

【達成すべき指標】

- ・各定例会終了後、速やかに情報化委員会を開催し、次の定例会までに議会だよりを年4回発行した。
- ・市民と議会の懇談会を地域11ヵ所、団体6回実施した。
- ・動画配信や議会日程等について、会議終了後、速やかにアップするなど、ホームページによるタイムリーな情報発信を実施した。

【指標を実現するための取組・手段等】

- ・情報化委員会で、内容が分かりやすいものとなるよう編集等をサポートしながら議会だよりの発行、ホームページによる情報発信を実施した。
 - ・懇談会について、他市の取組等も情報提供し、これらを参考に市民の多様な意見を聴取するため、グループワーク方式を試み、アンケート結果においても意見が出しやすかったという回答が多く高評価を得た。
- 現在、今回の試みにおける課題を整理しながら、来年度に向けて、更によりよいものにしていけるよう情報化委員会で検討している。

運 営 目 標		中間点検(9月)	最終点検
3	議会改革に向けた活発な協議・検討を推進し、議会の活性化をサポートする。		
策 達成指標 達成手段 等	<p>①</p> <p>【施策】 議会運営及び事務処理の効率化等を図るためのDX(トランスフォーメーション)の推進及び議員の報酬のあり方等について議論を深化し、できることから方向性や計画等をまとめ推進する。</p> <p>【達成すべき指標】 ①年内に宮津市議会DX推進計画(仮称)を取りまとめる。 ②議員報酬のあり方について、議会としての方向性を決定する。</p> <p>【指標を実現するための取組・手段等】 ①議会活性化特別委員会をサポートし、議論を活性化させる。 ②議員報酬について、議会基本条例に掲げる市民の客観的な意見の聴取などを行うとともに、審議会における第三者の意見を聞き検討する。</p>	<p>【指標を実現するための取組・手段等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 6月に議会活性化委員会内にDX推進の取組を少数で集中的に検討する小委員会を設置。また、小委員会での検討をサポートし、できることからDXを推進していくことを取り決め、計画作成と同時並行で全議員のコンセンサスを得て、私用のタブレットによるペーパーレス化の実証を9月定例会からスタートした。 6月に議会活性化委員会で議員報酬及び議員定数を検討していくため、付議事項を議会の議決で追加した。 議員報酬及び議員定数に係る市民の意見を聴取するため、市民アンケートの10月実施に向けて、内容の検討をサポートした。 議員報酬について、専門家による議員研修を実施し、当該研修から習得した各算定方法による比較検討をサポートした。 	<p>【達成すべき指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 計画の成案にまでは至らなかったが、議会運営に係るDX推進計画の骨子案まで作成した。 議員報酬について、議員定数と一体的に検討をしていくこととする委員会結論となり、市長設置の報酬審議会には諮問せず、慎重審議の上、来年度に専門家等を招致し、最終判断をする大幅なスケジュールの見直しを行った。現在、専門家等に諮る前に、報酬及び定数に係る議会としての一定の方向性を導き出すため、研修により知見を深めるとともに、市民の意見等も聴取し検討を重ねている。 <p>【指標を実現するための取組・手段等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 6月に議会活性化委員会内にDX推進の取組を少数で集中的に検討する小委員会を設置。本小委員会での協議のため、課題の抽出、必要となる取組及び他市の状況等を資料等で提示するとともに、小委員正副委員長と進め方を適宜協議しながら、DX推進計画の作成に向けた小委員会の協議(計7回)をサポートした。また、できることからDXを推進していくことを取り決め、計画作成と同時並行で全議員のコンセンサスを得て、私用のタブレットによるペーパーレス化の実証を9月定例会から3月定例会まで実施した。 6月に議会活性化委員会で議員報酬及び議員定数を検討していくため、付議事項を議会の議決で追加した。 議員報酬及び議員定数に係る市民の意見を聴取するため、10月から市民アンケートを実施した。(473件の回答) 議員報酬について、専門家による議員研修を実施し、当該研修から習得した各算定方法による比較検討を行ったほか、議員定数についても類似団体比較等の資料を提示し、本委員会の協議(計10回)をサポートした。